

2024年度監査品質指標

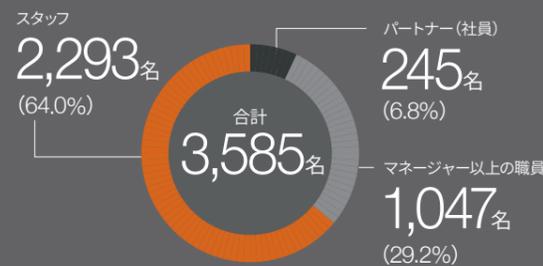
当法人は監査品質を見える化するための取り組みとして監査品質指標(AQI:Audit Quality Indicators)を設定し、この数値をモニタリングして、必要な改善活動を実施しています。

監査業務は、カルチャーの醸成、ガバナンス、品質管理活動、テクノロジーの活用などのさまざまな要素を組み合わせたプロセスを経て、監査報告書の発行に至ります。本図表で開示しているAQIIは、QMSE(p.47)という私たちの品質管理のフレームワークに

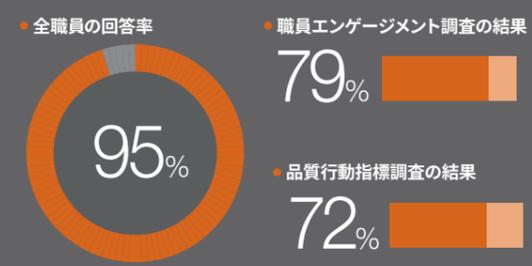
基づき設定した指標のうち、開示すべきであると判断した指標であり、日本公認会計士協会「監査品質の指標に関する研究報告」を網羅しています。さらに、PwCネットワークにおける開示動向も踏まえ、ESGに関する開示など段階的に拡充しています。

人財

職位ごとの人員構成



意識調査の結果



採用

中途採用者数の割合



日本の公認会計士および試験合格者等以外の比率



在籍スタッフの出身国数(日本含む)

22カ国

成長支援

監査従事者の年間平均執務時間

1,941時間

監査従事者の平均研修受講時間

90.5時間

多様な経験

パートナー(社員)に占める海外赴任経験者割合



退職率



人財交流(出向・異動)



インクルージョン&ダイバーシティ

女性比率

パートナー(社員)



管理職(マネージャー以上の職員)



男性育休取得率



男性平均育休取得期間

6.7週

男女の賃金比率



監査品質を支える取り組み

職業倫理・独立性

独立性に関する検査

独立性に関する確認書提出率



独立性の法令等違反件数

10件

テクノロジーの活用

Aura(電子監査調査システム)導入率



Connect(資料授受プラットフォーム)上場被監査会社への導入率



Halo(仕訳データ分析ツール)の導入率



監査品質の検証

定期的検証

対象件数

36件

パートナーカバー率

38%

定期的検証の結果

監査意見の修正が必要

0件

重要な指摘事項なし

32件

重要な指摘事項あり

4件

品質管理本部によるサポートおよびモニタリング

品質管理本部のサポート体制整備

品質管理業務の人員数

監査従事者に占める品質管理本部の人員比率(マネージャー以上)



未来への投資

PwC Japanグループとしてのテクノロジーへの投資金額

約158億円

デジタル研修受講完了率

99.4%

サステナビリティ基礎研修完了者数

1,878名

レビューアーの稼働時間

ホットレビュー

9,049時間

定期的検証

4,724時間

外部検査による処分

設立以降の金融庁による行政処分

0件